

政策委員長

いながき 孝子

いながき・たかこ
REPORT

<https://inagakitakako.seikatsusha.me>

品川・生活者ネットワークニュースNo.131 いながき孝子 REPORT
発行日：2022年8月15日
発行：品川・生活者ネットワーク 発行責任者：田中さやか
〒142-0043 品川区二葉1-10-11
TEL: 03-5751-7105 FAX: 03-5751-7106
E-mail: shinagawa@seikatsusha.net URL: <https://shinagawa.seikatsusha.me>



区政に挑戦することを決意しました、いながき孝子です。生活者ネットワークのメッセージ「政治は生活をよくするための道具」に共感し、政策委員長として活動してきました。生活の中で直面する不都合や不安、品川の未来を決するようなまちづくりの課題も山積している今だからこそ、おかしと思うことに目をむけます。

品川区は、市民に最も身近な行政府であり、私たちの生活に直結しています。子ども、女性、高齢者、障がい者、LGBTQ +、外国人、社会的に弱い立場の人が困難に直面しても泣き寝入りをしない社会にしたい！ 当事者・市民の声を聴き、聞くだけでなく新しい公共政策として制度改善につなぐ、市民の参加が保障される、自治の力が生きる自治体にしたい！

環境福祉優先！ 子どもの権利擁護、ジェンダー平等にこだわって28年。いながき孝子と品川・生活者ネットワークは、一人ひとりが「私らしく生きるための政治」を軸に、政策提案を続けます。

いながき孝子



設立から45年。地域政党「生活者ネットワーク」は都内34の自治体にあり、都議、区・市議あわせて41人の女性議員を持つ。ここ品川区では、現職区議の田中さやか(左)、吉田ゆみこ(右)がともに2期8年目の活動に全力傾注！

10/2 区議
補選！

「私らしく生きるための政治」へ
区政に挑戦！いながき孝子の決意です

いながき孝子 いながき・たかこプロフィール

■1966品川区生まれ。第一日野小学校、日野中学校、大崎高校卒業 ■90國學院大學文学部史学科(2部)卒業 ■90～民間企業、東京職業能力開発センターなど外郭団体に勤務 ■96～2000しながわ女性フォーラム実行委員 ■97～98男女共同参画のための品川区行動計画推進会議(第5期)委員 ■09～10尾崎行雄記念財団奨学生、現会員 ■10～一般社団法人「構想日本」勤務 ■14～放射2号線を考える会事務局 ■22～住み続けられるまちづくりをめざす品川区民の会副会長、品川・生活者ネットワーク政策委員長

●ケーブルテレビ品川区民カメラマン・アナウンサー、義仲巴ら勇士を講べる会理事など ●趣味：歴史探訪、古武道、弓道、読書、旅行 ●西五反田在住



いながき孝子さんを応援します

中川李枝子 児童文学作家



あなたも私も一人ぼっちではありません。この地球に生きる命は、みんなつながっています。故に、ネットは何よりも大切です。生活のすみずみまでゆきとどいた生活者ネットワークを支持します。

福嶋浩彦

元我孫子市長／元消費者庁長官／中央学院大学教授

大村 究

羽田問題解決プロジェクト代表

岩永やす代

東京・生活者ネットワーク都議会議員

北野富江

元品川区議会議員

三村りつ子

元品川区議会議員

市川和子

元品川区議会議員

田中さやか

品川区議会議員

吉田ゆみこ

品川区議会議員

井上八重子

品川・生活者ネットワーク代表／元品川区議会議員

●品川・生活者ネットワークいながき孝子の活動を紹介します。

介護する人も大切にされる社会へ！ 「ケアラー支援条例」を制定します

老老介護、子育てと親の介護をするダブルケア、家族介護やケアが必要なきょうだいの世話をするヤングケアラー等の実態が、ようやく認知されつつあります。介護のために仕事を辞して生活が困窮、親や家族の介護を担う必要から進学をあきらめた、長期にわたる介護疲れが原因で痛ましい事件が起きることも。

核家族化の進行に加え、少子高齢時代となった今、介護は誰にとっても身近な問題です。介護する人「ケアラー」が個人として尊重され、健康で文化的な生活を営むことができるよう、社会全体で支えるしくみが求められています。いながき孝子は、「(仮称)ケアラー支援条例」の制定をめざします。



生活者ネットワークのケアラー聞き取り実態調査の報告会

すべての障壁をなくす！ まちのバリアチェックを実施しています

誰もが負担なく利用できるトイレは施設や公園等に備わっているでしょうか。この日、私たちが調査対象に選んだのは公共施設のトイレです。例えば、ネットの提案で実現してきたユニバーサルトイレ（通称:誰でもトイレ）では、「使用中」のランプ表示がつかない、車いすの回転スペースが不足、ドアの開閉時間が短い等の課題が。障がい者、乳幼児連れの方、高齢者…必要とする要望に違いがあることも想定されます。当事者・市民の声を集め、「改正バリアフリー法」の確実な実施を働きかけていきます。(7/16)

- みんなで「避難所運営ゲームHUG」地域防災を軸に減災のまちづくりを進めます
- ストップ！羽田新ルート／再開発によるまちづくりを見直し、区民との対話によるまちづくりを進めます
- 省エネ・再エネで原発ゼロ！公共施設の電力は再生可能エネルギー100%で！
- すべての施策をジェンダーの視点で見直し、性差による差別・不利益をなくします
- 子どもの育ちを応援する「子どもの権利条例」を制定します
- 公給食に遺伝子組み換え・ゲノム編集食品は使わない！学校給食は無償化し、有機野菜デー・夏休み給食デーをつくりまします
- 介護する人も大切に！「ケアラー支援条例」を制定し、ヤングケアラーやダブルケア、老老介護を支えます
- 医療・介護・福祉の連携で、最期まで自分らしく生きる選択や在宅医療を選べる体制をつくりまします
- 地域包括支援センターの役割を強化し、少子高齢時代の市民生活を支えます
- 保健所機能を拡充し、感染症対策を強化します
- 誰もが参画できる共生社会をめざし、「改正バリアフリー法」を実施します
- まちの憲法「自治基本条例」を制定し、議会への「市民提案制度」をつくりまします



いながき
孝子の
政策

あなたの声を区政へ
ひとこと提案実施中！

